

射水市立放生津小学校

身近な川から水の大切さを実感し発信



射水市立放生津小学校

校長：津田 重治

指導教諭：蒲田 浩二
坂上 純美子

発表児童：4年生（10名）



本校は、創校137年の歴史ある学校です。校区は、射水市北部の海岸寄りに位置し、内川を中心とし、水辺に親しむ街づくりを推進するとともに、美観ある海辺や橋梁、海王丸パーク等観光に力を入れている。校区住民は教育への関心が高く、PTA活動も熱心である。

児童数は277名で、各学年2学級の中規模校である。素直な子どもが多く、外遊びを好み、体力づくりに積極的に取り組んでいる。

発表テーマ

『みつめよう私たちのくらしと環境

～クリーンエコピアはとっ子～』

内川のごみ拾いや水質検査の活動を通して、内川の環境保全に取り組んでおられる地域の方々の活動を知り、県立大学の先生方と一緒に内川の検査を行いました。また、川の駅で様々なイベントを企画してPRに努めておられる方のお話を聞かせていただき、内川を大切に守るとともに内川のよさを発信していくことを考えました。さらに、社会科で上下水道の仕組みや役割を学んだことで水の大切さを実感し、水をよごさないことを地域に発信していくことを考え取り組み始めました。

蒲田 浩二 先生・坂上 純美子 先生より

身近な人、環境、ものに主体的にかかわりながら、生き生きと学び合う子どもに

射水市の取り組み「環境チャレンジ10」で家族と実践したエコ活動で環境に目を向けていた子どもたち。地域で環境保全活動に取り組む人に教えてもらい、自分たちで行った多様な活動。そして、地域へ発信した様々な表現活動。時には個人で、時にはグループで生き生きと学び合う姿が見られた。この経験を通して、地域を愛し、地域の為に活動できる人へと成長してほしいと願っている。(蒲田)

地域の内川を大切に

地域を流れる内川に焦点を当てて活動してきた。内川周辺のごみ拾いをしたときには、予想以上にたくさんのごみが集まり、ごみと水の汚れの関係について考えることができた。また、県立大学の先生方と一緒に調査することで、知らないかった内川の特徴が明らかになり、自慢したいと思うようになった。今後もずっと内川を気にかけていく子どもたちであってほしい。(坂上)



▲透視度計に内川の水を入れています。どれくらいきれいかな。



▲県立大学の先生方と透視度計を作りました。目盛りを正確に付けています。



▲自分たちで内川の水質検査(PACテスト)をしています。12ポイントで水をくんでみて、違いがないか確かめました。



▲海上保安庁の方に授業をしていただきました。4つの水の水質検査(PACテスト)をしています。



▲校舎周辺のごみ拾いをして、環境保全に関心を高めました。



▲水辺のまち新湊の理事長二口紀代人さんに授業をしていただきました。内川をきれいにしたいという熱い気持ちが伝わりました。

考えたこと！感じたこと！



水みらいプロジェクトに参加して

書川 ともか(4年生)

わたしは、総合的な学習の時間に勉強した内川のことを、たくさんの人々に伝えることができてうれしかったです。それから、内川のことを勉強するために、たくさんの人に協力してもらいたい、とても感謝しています。これからも、内川を大切に、そして、きれいにしていく活動を続けていきたいと思っています。

内川の水の調査や流れの速さの調査

畠 知沙紀(4年生)

私は、これまで総合的な学習の時間の時に海や内川の事を調べたり、考えたりしてきました。内川の事をもっと知りたいし内川の水はきれいなのか知りたかったので県立大学の先生方といつしょに、水の調査や流れの速さを調べたりしてきました。調査で「汚れている」「にごっている」など内川の事がたくさん分かつたので、とてもよかったです。

未来の内川が、今よりもとてもきれいになるように、いろいろ工夫していきたいです。

学習テーマの設定

身近な内川を知ろう

私たちは総合的な学習の時間に身近な環境問題を学習することにしました。なかでも地域を流れる内川について、いろいろな方に協力していただき関心を深めました。



新しい問題や疑問も…

内川のごみ拾いをして、ごみをへらす方法を考えようなど、問題意識が高まりました。また水質調査をして、水はあまり汚れていないにきれいには見えず、新しい疑問も感じました。



学習の展開

川の駅や浄水場を見学

「川の駅」で内川のPRに取り組むお話を聞き、自分たちも何か発信できないか?と考えました。和田川浄水場では水をきれいにするしくみを知り、水は汚さず大切にしようと思いました。



海の環境から考える

海上保安庁の方に海の環境について教えていただきました。水の循環のお話、漂着物やごみで困っている動物たちの写真を見て、ゴミを減らしたい、水を大切にしたいと強く思いました。



水はきれいにして返す

神通川左岸浄化センターでは、私たちが使った水の汚れを微生物の力で分解し、きれいにして川や海にもどしていることに感心!自分たちにできることは何か?あらためて考えました。



水質や流れを調査

県立大学の先生たちと内川の水質検査や流れを調査。岐阜県で庄川の源流を見学。また内川観光の目玉・遊覧船に乗せてもらうなど、内川や水についていろいろなことを学びました。



自分たちから発信!

自然や地域を大切にしたい思いをこめた学習発表会、ポスターづくりと掲示、手づくり新聞の配布など、学習したことをもとに発信!これからもできることに取り組み、学び続けます。

